

2. 高崎競馬場跡地の利用に係る専門家等意見交換会結果概要

高崎競馬場跡地について、群馬県及び高崎市の振興に資する有効な利活用の方向性を探る一助とするため、各分野の専門家から意見を拝聴したもの。（平成18年11月24日と平成19年1月19日の2回開催）

【跡地が担うべき機能】

- ・ 広域的連携拠点機能
- ・ 防災拠点機能
- ・ 公共、公益的機能
- ・ 本県の玄関口的機能
- ・ 県外への情報発信等に向けた戦略的機能

【跡地の評価】

- ・ 県及び市の貴重な財産
- ・ コンパクトシティを目指すための公共的施設の再配置空間
- ・ 県の玄関口に相応しい目的に利用すべき空間
- ・ 東京や近県から集客できる場所
- ・ 道州制移行時に中心となる場所

【アイデア】

○個別施設

公園（防災）、芸術文化施設、広域医療施設、スポーツ施設、教育・研究施設、行政機関、国際会議場、宿泊施設、住居 等

○複合施設

- ・ 都市公園、病院・特養、子ども関連施設の複合
- ・ 教育・研究・文化・スポーツ・住居と行政機関の複合
- ・ 音楽ホール・コンベンション・図書館等の複合 等

○貴重な空間を次世代に残すことも検討（将来を見据えて現状維持）、公園等に暫定利用しつつ長期的に検討。

【留意点】

- ・ 結論を急がず、長期的視点に立ち、慎重に検討すべき。
- ・ 私有地部分の散逸を防ぎ、土地の確保など一体的利用ができる方策の検討が必要。
- ・ 用途については、県内向けなのか、県外向けなのか、分けて考える必要。また、県民の本当のニーズの有無を精査する必要。
- ・ 競馬場跡地という「敷地境界線を越えた」連続した都市や街の視点からの考察が必要。
- ・ 周辺が住宅地であることや、高崎駅西口の商業集積を阻害しないため、商業機能は回避。
- ・ 開発に当たっては、周辺との調和を図り、周辺も含めた利用、開発、整備が必要。
- ・ アクセス道路の整備等のため、競馬場跡地を含む地区の区画整理事業の推進が必要。

【委員】

石田安利 （高崎商工会議所副会頭）	岡田芳保 （県立図書館・土屋文明記念館館長）	小竹裕人 （群馬大学社会情報学部准教授）	小林正明 （高崎観光協会常務理事）
篠田義男 （群馬県観光審議会委員）	竹村 省 （群馬県商工会議所連合会副会長）	友岡邦之 （高崎市公民館運営審議会委員）	中島和也 （日本青年会議所群馬ブロック協議会会長）
原田寛明<座長> （高崎経済大学地域政策学部教授）	湯沢 昭 （前橋工科大学工学部教授）	（敬称略）	